平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ２０３ ※記入不要	提案機関名	津久井地域農業改良普及センター

要望問題　粗飼料の嗜好性評価について

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

【背景】
粗飼料は含まれる栄養価だけでなく、摂取量によって乳牛への給与効果が期待・発揮されるが、酪農家において牛が粗飼料（購入乾草）を摂取しないという事例に度々遭遇する。給与前に嗜好性が判断できれば、飼料を利用する上での損失を低減できることから、現場での嗜好性評価が必要と思われる。

【内容】
１　嗜好性の評価方法の検討
（１）嗅覚、味覚、触覚での判断方法
（２）嗜好性を左右する分析方法（現場でできるもの）
（３）給与粗飼料が良質かどうかの評価基準

２　購入乾草の嗜好性評価
栽培条件(草種、産地、収穫時期、前作との関連、気象条件等)と嗜好性の関連を基準化する

【対象地域及び規模】
県内全域、規模問わない

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産研究所
部　　署：	畜産工学部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合）

対応の内容等

購入乾草の嗜好性については、様々な要因が関係し、簡易な評価は難しいと考えます。飼料評価における嗜好性についてはその定義が明確でないことから、まだ測定法が確立されておりません。現在行われている方法は、採食速度による方法、採食量による方法、キャフェテリア法などがあります。いずれの方法も乳牛の採食経験の影響を受けますし、個体差が大きいことも考慮する必要があります。現場においては、購入前に相当量のサンプルが入手できれば、キャフェテリア法等で最も嗜好性のよいものを選ぶことはできます。

一般に、良質のものは嗜好が良いとされています。良質かどうかの評価基準については次の資料を参考にして下さい。

「乾草の品質判定」：改訂粗飼料の品質評価ガイドブック、P84-90、日本草地畜産種子協会

また、栽培条件と嗜好性の関連については、購入乾草の場合栽培条件を知ることが難しく、当所で実施することはできませんが、来歴の分かるものがあればデータ収集に努めたいと考えています。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	